

受講番号 19089 学校名 南中学校 氏名 矢野 芳恵

研究の背景

研究対象(学年、クラス等) 3年生 生徒数 14名
科目名 3年生 単位数(授業時数) 4時間 使用教科書名 New Horizon English Course Book 3(東京書籍)

クラスの様子・特徴

1年の時から学級担任として持ち上がってきた。全体的には意欲的に取り組むことができてはいるが、一部の者が授業や家庭学習にまじめに取り組むことを苦手とし、学習の定着が低い。

問題の確定

1年時の学習内容の復習と英単語を定着させる取り組みが必要。

予備調査

A 授業の観察

全体的には意欲的に授業に取り組んでいるが、一部の者が基本的な英文法の定着が低い。3年生の文法を理解することがなかなか難しい。そのため意欲に欠けてしまうことがある。

B 生徒による授業評価

クラスの90%以上の生徒が「日本語にどのように英文を書くこと」が難しいと感じている。しかし「英語が好き」「どちらかといえば好き」と考えている生徒が90%以上おり、非常に驚いたと同時に何とか力をつけなければ…と痛感した。

C 学力データ

今年4月に実施されたCRTを見ると、「書く」ことが他の領域に比べて低い。全領域において男女間で差があり、男子が少し低い。

リサーチ・クエスチョン

基本的な文法事項の定着を図り、書く力を高めていくにはどうしたらいいか。

仮説・実践・検証

仮説1

3年間で習う単語を復習し、継続してテストを行えば、単語を書く力を高めることができるのではないか。

実践1

3年間で学ぶ重要英単語(380問)のプリントを配布し、毎時間10問ずつ発音練習、意味の確認をして復習した。次の時間には前時に復習した10問をテストを行った。

検証1

重要英単語(380問)の10問テストを毎時間行うことによって、生徒たちに「単語を覚えよう」という意識が生まれた。その結果全36回(360問まで)のテストの平均得点が87.5点と非常に高いものとなった。生徒へのアンケート(意識調査)でも「重要単語テストは英語を書く力の向上に効果があった」と答えた生徒が75%「まあまあ効果あり」と答えた生徒25%と、全員が効果があったと感じていた。

仮説2

1年の基本表現を復習していくことで、基本文の定着を図ることができるのではないかと。

実践2

1年生の基本表現(50問)を授業のはじめに復習し、日本語を見ながら英語が言えるよう練習するようにした。授業の終わりや休み時間を使って10問ずつ暗誦テストを行い、生徒全員が50問すべてを暗誦できるよう支援した。

検証2

1年生の基本表現テストの事前テスト(7/12実施)のクラス平均点は50点に満たなかったが、事後テスト(12/20実施)では17ポイント向上した。(男子平均15ポイント、女子平均17.3ポイント向上)生徒のアンケートでも「基本表現の暗誦は英語を書く力の向上に効果があった」と答えた生徒が58%「まあまあ効果あり」42%と全員が効果があったと感じていた。

仮説3

自己表現をする機会を増やしていけば、書く力を高めていくことができるのではないかと。

実践3

授業の中で折を見て、1年生の基本表現を使った簡単な自己表現の文をノートに書かせた。

検証3

自己表現をする機会をあまり増やすことができず数値化はできなかったが、生徒のアンケートでは「自己表現(英作文)は英語を書く力の向上に効果があった」と答えた生徒が42%「まあまあ効果あり」42%「あまり効果なし」16%という結果であった。記述のアンケートでも「自分のことを自由に考えて書けるようになった」「表現の仕方がわかった」「自分のことは書きやすかった」と肯定的な解答が多く書かれていた。

研究の成果

取り組み全体の生徒の感想が「すごく勉強になってよかった」「英語を書く力がついてきたと思う」「380問のテストが結構好きだった」「難しかったががんばれた」「書ける単語の数が増えた」「毎日やっていくうちに力になった」「なかなかおもしろかった」など肯定的に感じてくれたことがとてもうれしかった。アクション・リサーチを行ったことで、教師自身がやる気を持って授業に取り組めたように思う。だから生徒がついてきてくれたのではないかと感じる。一定の成果が見られてよかったが中学3年生の英語力の定着にはまだほど遠いのが現状である。

今後の授業改善の課題

1年の基本表現の暗誦テストで、全員が暗誦するまでに至らないまま終わってしまったことが非常に悔やまれる。中学3年生の英語力の定着を目標に、少しでも英語力が向上するよう今後もアクション・リサーチを続けていきたいと思うので、その時は最後までやり遂げるよう努力をしたい。また同じ暗誦でもペアワークやグループ活動を取り入れるなど、生徒が飽きないように新しい方法を取り入れるなどの工夫を行っていきたい。

リサーチについての問合せ先:

職場電話 0889-47-0011